

平成 21 年度事業報告

ノギャル発起人藤田志穂トークショー

「私の夢のかなえかた&10のルール」

「ノギャル発起人藤田志穂さん」をお迎えして開催した「青森県男女共同参画センターオープンカレッジin五所川原」について報告します。

日時	平成 22 年 2 月 21 日(日) 13:30~15:30
会場	ELMの街エルムホール
参加者数	240 名
主催	青森県男女共同参画センター、五所川原市、青森県担い手育成総合支援協議会、青森県農業会議
後援	五所川原街づくり株式会社
協力	ごしょつがる農業協同組合女性部
参加団体	五所川原市農産物加工センター振興対策協議会、赤～いりんご応援隊、(株)シャングリラ、赤～いりんご(株)、自然菓子あるる、奈良農園、コミュニティカフェでる・そーれ

皆様のご協力の下に盛会に終えることができました。ありがとうございます。

青森県男女共同参画センターアピオあおもりのホームページから抜粋したオープンカレッジレポートを掲載します。

●オープンカレッジ・レポート

- 日時 平成 22 年 2 月 21 日(日) 13:30~15:30
- 場所 ELM の街エルムホール (五所川原市)
- 参加者数 240 名
- 講師 藤田 志穂(ふじた しほ)ノギャル提唱者



■プログラム

- 主催者あいさつ
- 農産物加工品販売参加団体紹介
- トークショー「私の夢のかなえかた&10のルール」
進行: 小山内世喜子(青森県男女共同参画センター副館長)
- お楽しみ抽選会

《内容》

・農産物加工販売参加団体紹介

トークショーの前に、代表者が舞台上で自団体の活動内容を紹介するとともに、熱のこもった販売品PRを行った。

・トークショー&抽選会

藤田志穂さんが、「ギャル」であることにこだわりつづけながら19歳で起業したこと、「ギャル社長」として独自の視点で数々の事業を成功させ黒字経営を実現したこと、日本の若い世代に「食」の大切さを考えるきっかけを提供するため「ノギャルプロジェクト」を立ち上げたことを、具体的なエピソードをふんだんに交えながら紹介し、「自分らしさを大切にす
る」「思ったことは行動にうつす」といったメッセージを来場者に伝えた。

また、「月曜日の朝は渋谷掃除」「農作業の時も本気でオシャレする」「give & give」など、自身の「10のルール」を披露、自分のこだわりや信条について語った。

トークショー終了後は、「ライスボディ」(ノギャルプロジェクトで生産した米を人型ペットボトルに詰めたもの)と「赤〜いりんごワイン」の抽選会で、会場は大いに盛り上がった。

・地元団体による農産物加工品販売

会場にブースを設置し、五所川原市で活動する9つの団体が農産物加工品を販売した

▼農産物加工品販売団体の皆さん



▼トークショー



▼抽選会



▼加工品販売ブース



●参加者の声

- ・藤田さんらしい 10 のルールが良かった。自分なりのルールを見つけたいと思いました。
- ・地元団体やグループにこれから先の明るいお話、本当に良い話、ありがとう。
- ・EDWINとコラボした作業用ツナギがかわいかったです。ポケットが工夫されていて、作業中にケータイを落としたりしないですむってすごいなと思いました。
- ・考えたことを行動に移せるのがすごいと思った。
- ・モチベーションの持ち方が参考になりました。仕事に行き詰っているみたいな時だったので、ちょっと元気になりました。
- ・行動を起こさないと何も始まらないと、自分は何もしていないので、反省です。
- ・人は見た目で判断できない。しっかりした人でした。フロアからの意見も欲しかった。
- ・自分も夢をかなえたいと思った。色々な事に挑戦してるのがすばらしいと思った。
- ・コンセプトが良い。若い人たちへもっと呼び掛けてほしい。地方の職業、生き方の刺激になる活動を支援します。
- ・やっぱり成功する人は違うなあって思いました。何事にも興味を持って、実行して、やり遂げる感じがすごい。自分もしっかりしなきゃ!!って、本当に勉強になりました。
- ・お話を聞いて、今、悩んでた事が解決しそうです。
- ・自分らしさを相手に分かってもらうことの大切さを、あらためて感じさせてもらいました。
- ・一生懸命さがよく伝わってきました。若い方に影響力がたくさんあると思うので、これからも色々な事を発信して行って下さい。
- ・とても良かった。芯があって、感じが良い。ギャルとか関係なく、魅力のある方でした。

・ギブ&ギブ。見返りを求めず、感動することだと思った。

・トークじゃなくて講演にしてほしかった。

等のご意見ご感想をいただきました。